

## ＜5＞視察のまとめ

今回の視察では、本町の第6次総合計画の重点プロジェクトである「子供たちの笑顔が輝くまち」のうち「安心して子育てができる環境づくりの推進」および「特色ある豊かな教育環境づくりの推進」に焦点をあて、フィンランド共和国ラハティ市を視察した。また、本町にある北海道介護福祉学校と交換留学を20年来進めているカヤーニ市にあるカイヌーン職業学校を訪問するとともに、カヤーニ市の福祉の実態について視察した。

さらに、第6次総合計画の商工業において「賑わいにあふれる魅力ある商店街づくり」および、芸術・文化において「歴史的建造物の保存・継承」において、オランダ王国アムステルダム市を視察、また、同じく重点プロジェクトである「地域の潜在力を活かすまち」のうち「6次産業化に取り組む町内農業者等の支援」および、農林業において「生産性の高い農業・農地整備の推進」において、同じくオランダ王国の北ホラント州を視察した。

ラハティ市では、日本国内の自治体においてもモデルとして取り組んでいる子育て相談支援機関「ネウボラ」を市内に5か所設置し、妊娠時期から小学校までのほぼ全ての世帯に対し、切れ目のない総合的な子育て支援を実施している。本町が目指す子育て世帯が求める「安心して子育てができる環境づくり」のためにも、その支援体制についての検討が必要である。

また、教育現場におけるICT化が徐々に進行する中で、ICT技術の先進国であるフィンランドにおける教育現場の視察を通し、いかにしてICT技術を効果的に活用できるかどうか、教育を担う教員等との理解を高めながら進める必要があることを理解することができた。

カヤーニ市のカイヌーン職業学校訪問では、シヴォネン校長はじめ多くの先生方と交流ができ、さらなる相互理解と絆を深めることができた。また、カヤーニ市教育長とも面談し、現在、学校機関と企業との共同事業等のサポートに力を入れているとのことであった。

アムステルダム市では、旧市街地は歴史的景観保存地区となっており、17～18世紀のオランダ特有の建築が建ち並んでいる。優遇制度等があるものの、許可なく建物の外観の変更は認められず、所有者自らの負担で維持管理が義務付けられている。本町においても、歴史的建造物の保存と継承には、各種制度創出などの検討が必要である。

ホラント州のアグリポートA7では、広大な土地に巨大な施設園芸農業でコンピューター管理による合理的な農業が展開されている。また、近隣農家共同で取引先と直接、交渉・契約を行っており、後継者不足に直面している本町農業において、より生産性の高い効率的な農業の取り組みが今後ますます求められる。

また、同じく「シモンフーベ」では、小規模ながら、少しでも付加価値の高い製品の加工など、農業の6次産業化への展開が図られていた。北海道の農業は、依然として厳しい環境に直面している。オランダにおける先進的な取り組みを参考にしながら、より付加価値の高い農作物の生産に取り組み、農村集落の活性化と担い手確保に繋げることが必要と思われる。

最後に、今回の海外視察研修について、理事者をはじめ職員皆様のご理解のもと、このような貴重な機会をいただいたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

また、北海道介護福祉学校とカイヌーン職業学校との交換留学20年目の節目の学校訪問にあたり、大変お忙しい中対応していただいたシヴォネン校長はじめ多くの先生方、また、訪問に際しスケジュール等を調整していただきましたリスト先生、その他関係した皆様に重ねて感謝を申し上げ、視察報告とします。